

『一生懸命』幻の新座市議会報告第169弾!



たかむらともや

2019年の決意!!

安倍政権による「悪魔のような2018年」が終わり、2019年がはじまりました。この「悪魔のような流れ」を断ち切るには「政治」に目を光らせ「選挙」には必ず参加して、財界、グローバル企業、アメリカに「忖度」し続ける政権を倒すしかありません。「黄色いベスト」を着る代わりに、投票権を行使すればいいのです。

沖縄辺野古やパリののように体を張って機動隊と衝突するのも悪くはありませんが、平気で嘘をつく「悪魔のような政権」に体を張るのは危険です。

昨年”私や妻が関係していれば、首相も国会議員も辞める”と言った「森友問題」や「加計問題」を嘘で握りつぶしたことを忘れてはいけません。

その二つは決して忘れてはいけないことですが、実はそれよりも「種子法廃止」や「水道民営化」さらには「入管法改正」がこの国の形を変える可能性があるくらい酷い法案だったということに我々は気がつかなくてはいいけないのです。

我々国民が望んでもいない「種子法廃止」や「水道民営化」で儲かるのは誰なのか。誰が日本の自民党政権に圧力を掛けて、それをさせているのか。

「移民法」と言われる、「入管法改正」は誰の要望なのか。そして、デフレが進み、実質賃金が下がり続けている中での、「消費税増税」や「憲法改正」そして「TPP」「TAG」という名の米日FTAは誰が要求しているのか。我々は考え、行動しなければなりません。

大切なことは考えることです。奴らの罠にはまり、考えなくなり、(投票しても何も変わらない)と思い込み、投票行動をしなくなったら、それこそ悪魔のような奴らの思うつぼです。(思考停止が一番怖い)

憲法九条の改正が現実となれば、「経済的徴兵」も現実的になってきます。戦争をしないのは当たり前だった我が日本国が、米軍の手先になって戦争にかり出されたら、そこに「経済発展」などある訳がありません。「グローバル種子企業」「グローバル水企業」に日本人が大切にしてきた「種子」や「水」を売り渡そうとしている奴らに、政治を任せてはいけません。そう決意するのが子ども達に対する大人達の責任です。

2019年1月31日発行



都立石神井高24期生の集まりがありました。3年の時は男子クラスだったのですが、女子も来てくれて大いに盛り上がり、珍しく3次会まで行きました。

たかやんのプロフィール



1954年、港区青山生まれ。

本名 たかむらともや

新宿区立西戸山小中学校卒。

新宿区百人町では有名な超悪ガキで成績も超悪かった。

石神井高校ではテニスしかせず、クラスで最下位となる。

北大時代もテニスしかせず、「教職」以外の勉強はしなかった。卒論も出さずに北大を卒業。五中・六中・二中で21年間担任をする。

現在木村俊彦と「市民と語る会」を結成。教育問題を中心に「PTA問題」「道路問題」「ワクチン問題」「町内会の補助金問題」などにも取り組んでいる。

現在は石神3丁目の「たかやん塾」で小中学生と「個別対応」の塾をやりながら、月に一度の黒目川の川掃除と7か所での駅立ちに燃えている。

好きな政治家はホセ・ムヒカ、田中角栄、山本太郎
大嫌いな政治家は日本の「水」「種子」「漁業」「人」「農地」「森林」「国土」をグローバル企業と米国に売り渡そうとする極悪人、安倍晋三とその一味。

写真はこの2月に市議会を去る大佑(平松だいすけ)とのツーショット。議会で多くのことを彼から学んだ。真っすぐな大佑を勝手に応援する。

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ ミツバチのお話

2015年、日本の厚労省はネオニコチノイド系農薬の残留農薬基準を大幅に緩和しました。

その効き目はまさしく「夢の農薬」で、水によく溶けて、土にしみ込み、一度まくと数か月から数年も土壌にしっかりと残留し、虫達の神経に作用するので、虫の中には勿論、ミツバチもいます。ミツバチは神経系を壊され、帰巢本能を失い、群れが崩壊していきました。

このネオニコチノイド系農薬により、ヨーロッパでは全ミツバチの3割が、ドイツでは何と8割が消滅してしまいます。2013年12月、EUでは「ネオニコチノイド系農薬に子どもの脳や神経にも毒性がある」と発表。2018年に全面的に禁止します。世界は続々とそれに続いていきました。

ところが日本は全面禁止どころか、残留農薬基準を大幅に緩和していったのです。それも最大200倍という恐ろしい緩和です。ミツバチの神経を破壊する毒を“規制緩和”する理由は…その農薬が売れると、儲かるからです。

儲かるのは、その農薬を作っている世界三大農薬企業(日本のS社を含む)です。そういう企業が儲かれば、ミツバチが神経をやられても、日本の子ども達が神経をやられても、気にしない。それが今の日本の政治家達であり、国家公務員達だとしたら、総とっかえした方がよさそうです。

このミツバチのお話は僕が大好きな「堤未果」という人の「日本が売られる」(幻冬舎新書)に書かれています。是非、みなさんも読んでみてください。

悪魔のように恐ろしい安倍政権が日本の何を売ってきたのか、これから何を売ろうとしているのか、よく分かると思います。ネオニコチノイド系農薬の恐ろしいところは、水俣病の水銀と同じように目に見えず、確実に神経を破壊するということです。まず、小さな虫たちが犠牲になり、次に小さな動物や子ども達が犠牲になるのです。日本の厚生労働省は悪魔のような政治家達と協力して「規制緩和」して、大企業が儲かるように協力しているのです。

今、「毎月勤労統計」の不適切調査が問題になっていますが、何の不思議もないのです。私の父は労働省で国民の為に必死に働いていましたが、今の厚生労働省に当時の面影はありません。

③ 受験生の君たちへ

受験シーズンになりました。憧れた高校、そして大学に挑戦できることはとても幸せなことです。

初めての受験の人は勿論、経験のある人も受験は恐ろしい、怖いものを感じるかも知れません。

でも、大好きな人に「告白」しないで、失恋すると悔しいですね。それと同じで、自分が行きたい学校があるのに、我慢して「受験」しないのはよくありません。本気で行きたい学校があったら、もがいて苦しんでもいいから、ぶつかってってください。

仮に失敗したとしても、それは本当の失敗ではありません。挑戦しなかったことが失敗なのです。

どうか、「受験できる幸せ」を感じてください。世の中には、受験できずに自分の人生を生きなくてはならない同じ世代の仲間がいるのです。

僕自身は幸せなことに、行きたいと思った高校だけを受験し、行きたいと思った大学だけを受験し、いい仲間と出会い、思い切りテニスをしました。

更に、就職試験も「教員採用試験」だけしか受けませんでした。常に、行きたい学校、やりたい仕事が目の前にあったことは本当に幸せなことだったと思っています。だから君たちにも思い切りぶつかって欲しいのです。辛い時は君たちを応援している友だち、担任や顧問の先生、そして家族の笑顔を思い出してね。君たちは一人じゃないからね。どうか思い切りぶつかってってください！

日本で「経済的負担」から受験できない若者がいるのも、昔はなかった教育ローンの仕組みを作ってしまったのも、政治に無関心だった大人の責任です。君たちは「政治」に関心を持ってください。そして、どうしたら日本の国が、教育が今より少しでもよくなっていくのか、一緒に考えましょう。たかやん

③ 新座市議会のお話

大好きだったアッペ(芦野修)が亡くなり、工藤かおるさんと、刷新の会の大佑(平松だいすけ)が県議選に出ることを表明し、NHKから国民を守る党の和久(塩田かずひさ)が川口市の市議選に挑戦することになりました。今度の3月議会は26名から22名という未だ嘗てない少数議会になりそうです。我々の控室も5人から3人と寂しくなります。常任委員会がどうなるのか心配ですが、今まで通り、自分のやるべきことをやっていこうと思います。